

---

# ソウルオブリヴァイヴ

召霊使い

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ソウルオブリヴァイヴ

### 【Nコード】

N2177Z

### 【作者名】

召霊使い

### 【あらすじ】

精霊、そう聞いたらRPGに出るファンタジーの世界の物だと思う。

しかし、それは違った。

世界を殺す存在、人は物知れずに科学と魔導で武装して誰にも知られずに排除されていた。

そんな中、名もない精霊の少女と青年・守風宗谷は出会う。

出会って数秒で殺れる、次に目を覚ますと宗谷には戦う存在として精霊を止めることを強要される。

## プロローグ：精霊との遭遇

守風宗谷、彼は普通の青年だ。

どんなと言われれば、何処にでも転がってそうなちよつと機械好きの青年で22歳の工場勤務で無駄に身体が頑丈な、仕事のせいで筋肉が鍛えられて無駄に筋肉質になった身体を同期は人として扱う事が数年でなくなる程の業務をやつてのけた。

そんな仕事中心の彼は、爆心地と言っても良いくらい荒れた通勤路に立っていた。

あり得ない、非現実的な光景。

繁華街は消し飛び、瓦礫の山になっている。

人は空を舞っている、或いは地面に叩きつけられて拉げている。或いは何とかコンクリート製のビルの壁面に叩きつけられて圧死して、人間の中身をぶち撒ける。

宗谷の視線の先にはクレーターがある。

隕石でも落下した様な、大爆発の爆心地のど真ん中と言う様に。

クレーターの中心でただ立っている不思議な光のドレスを纏う少女が凄惨な光景すら忘れさせた。

素材の知れぬドレスの奇異さは目を引くには十分だった、同時にドレスから光のスカートが伸びている。人で言う布に相当する部分は

光で構成させているのだろうか、それも注意を引くには十分だった。

それ以上に、少女の姿容が宗谷の目を引いた。

肩から腰に絡みつく様な、黒色の髪。

凜として遙か先を見通す形容しがたい不思議な色の双眸。

女神すら嫉妬しそうな顔を陰鬱そうに曇らせ、口を結んでいる。

あまりも、この世のものとは思えない。

それ程、暴力的なまでに美しい。

「君、は………?」

思わず呟くと少女はこちらを向き、手に持った幅広い刀身の剣の切っ先をこちらに向ける。

「名、か………」

聞いた事のない、良い調べの声音が響いた。しかし、次の瞬間には少女と宗谷の間合いはゼロになる。

「………そんなものは、ない!」

初めて、少女と宗谷の視線が交わった時、宗谷はすっ飛んだ。

これが、世界を殺す精霊との初遭遇で、守風宗谷の物語は動き出した。  
ストーリー

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2177z/>

---

ソウルオブリヴァイヴ

2011年12月8日06時18分発行